

令和4年度 南丹市立殿田中学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン)

| 学校教育目標 | | 学校の現状分析 | | 学校経営方針(中期経営目標) | |
|--|--|--|----|---|---|
| <p>人権の尊重を基盤として、ふるさとを舞台に広い視野で考え、自ら学び、主体的に行動する、心豊かな人間の育成</p> <p>＜めざす生徒像＞</p> <p>○生命と人権を大切に、生き抜く力をもった生徒</p> <p>○いつまでもふるさと日吉を愛する生徒</p> <p>○グローバルな視野で考えることができる生徒</p> <p>○学ぶ意欲と学ぶ力を身につけた生徒</p> <p>○思いやりをもち仲間と協調して取り組める生徒</p> | | <p>●生徒は全般的に落ち着いた状況の中であり、学級生活満足度も徐々に向上している。</p> <p>●異年齢集団による、他者を尊重し自尊感情を高める取組が伝統として定着しつつある。</p> <p>●生徒の主体的・対話的で深い学びを引き出す授業づくりについてはまだまだ課題が見られる。</p> <p>●家庭学習や自立的な活動の充実等の課題に、改善の兆しはあるがまだまだ克服できていない。</p> <p>●指示されたことに対して真面目に取り組む姿勢は見られるが、将来の夢や目標に対する展望や、失敗を恐れず挑戦する姿勢に弱さが見られる。</p> <p>●学校運営協議会設立により、コミュニティスクールとして地域との協働が徐々に進んでいる。</p> | | <p>○人権感覚を高め安心して学べる環境づくりに努める</p> <p>★お互いを尊重し、主体的に話し合い、仲間とともに活動できる集団を育成する</p> <p>○主体的、対話的で深い学びを実現する授業づくりを推進する</p> <p>★教員の授業力向上や家庭学習習慣の確立により、生徒の学力向上を進める</p> <p>○道徳や特別活動を充実させ、豊かな人間性を育む</p> <p>★地域道徳やブロック活動を通して、多様性を認め協調性のある人間関係を結ぶ</p> <p>○将来を見据えたキャリア教育の充実を図る</p> <p>★地域人材やキャリア・パスポート活用で、将来展望と自己管理能力を育成する</p> <p>○コミュニティ・スクールとして地域との協働を充実させる</p> <p>★学校運営協議会との連携をより一層深め、熟議内容の実現に向け取組を進める</p> | |
| 学校経営の重点(短期経営目標) | | 成果 | 評価 | 課題 | 改善策等 |
| 人権教育 | <p>◆全教育活動の基盤となる人権意識の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめの完全否定を100%の生徒が回答する 学校は楽しいと回答する生徒を60%以上にする 情報モラル学習を、教科・道徳等で計画的に実施する 交流・共同学習実施で心のバリアフリー意識の浸透を図る | <ul style="list-style-type: none"> いじめについては97%であったが、概ね肯定的であった。 学校は楽しいとの回答割合は87% 人権講演会で学びを深められた。 できる範囲で交流学習を継続できた。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 別室登校・不登校生徒への丁寧な日々の働きかけ。 系統的な人権学習実施に向けての職員意識の高揚。 | <ul style="list-style-type: none"> 日頃の小さな言動を見逃さない教職員の姿勢を創り出す。 人権学習を中心にすえた各学年の教育課程編成 情報教育部としての情報モラル指導についてのマネジメントを行う。 |
| 学力向上 | <p>◆学びに向かう力と学び方を育てる授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で計画を立てて学習する生徒を70%以上にする 家庭学習30分未満の生徒を10%以下にする 全教員が1回以上、公開授業研究会を実施する 効果的なICT機器活用による、分かる授業を進める | <ul style="list-style-type: none"> 全教員が1回以上公開授業を実施し、ICTの利活用等、自身の授業改善に活かすことができた。 英検や外部コンクール等に挑戦する生徒数が増加している。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 計画を立てて学習する割合が目標値を下回った。(52%) 家庭学習時間30分未満の割合が依然多い。(30%以上) 公開授業週間に対する教員の意識改革 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味関心・主体的学習に繋がる課題開発。 学ぶ意味・意義の生徒への伝達。 公開授業週間とともに、中心授業を含む公開授業研を実施する。 公開授業週間中の相互参観を増やす。 |
| 道徳・生徒指導 | <p>◆生徒指導三機能をもとにした豊かな人間性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ブロック活動を年間5回は実施する 自分に良いところがあるとする生徒を50%以上にする 生徒の学級生活満足度を70%以上にする(QU活用) 「考え議論する」道徳の確立に向け授業参観を実施する | <ul style="list-style-type: none"> ブロック活動を年間8回実施した。 学級生活満足度の上昇(62%) 自分には良いところがある、将来の夢や目標を持っているとの回答がそれぞれ目標値に達した。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 「考え議論する」道徳に向け、道徳の授業そのものの研修が必要。 生徒の頑張りやふるまいに対する適切でタイムリーな評価が必要。 各活動の方向性・到達点の共通確認が不十分。 | <ul style="list-style-type: none"> 各活動がどの非認知能力の育成を目指すのか目標を明確にする。 居心地がよく、間違いが許される学級作りに向け、学年経営の見直しを図る。 見通しをもった学活計画をしっかりと立て、道徳の授業改善を進める。(道徳の公開授業設定) |
| キャリア | <p>◆将来への展望と自己管理能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や目標がある生徒を60%以上にする 失敗を恐れず挑戦する生徒を50%以上にする 「人の役に立ちたい」と回答の生徒を80%以上にする キャリア・パスポートの効果的運用を学期ごとに進めず | <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や目標があるとの回答が目標値に達した。(72%) 失敗を恐れず挑戦するとの回答が目標値に達した。(68%) 人の役に立ちたいとの回答が目標値に達した。(95%) | A | <ul style="list-style-type: none"> 進路選択に向けて、家庭学習の重要性に気づかせる指導の工夫や働きかけが必要。 キャリア・パスポートの効果的運用という点では課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 高みを目指すことができる学校全体としての雰囲気をつくり、働きかけを行う。 進路実現に何が必要か考える機会をつくり、自学自習の姿勢と気持ちを養う。 キャリアパスポート記入内容を振り返る機会の設定。 |
| 地域連携 | <p>◆コミュニティ・スクールとしての地域との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を5回以上開催する 各学年、年に2回地域道徳(親子道徳含む)を行う 学校の様子等の地域への発信・広報を進める ボランティア活動を実施し、地域貢献につなげる | <ul style="list-style-type: none"> 殿中行動宣言の具現化に向け、地域貢献に繋がる様々な活動を実施できた。 殿中掲示板等で情報発信に務めた。 「守られる側から守る側」というキーワードの足がかりとなった。 各学年の親子道徳では、参加保護者の反応がとても良かった。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 様々な企画が後半に集中しすぎた。 取組の主体を徐々に生徒会全体に広げていく。 ワークショップの意見を生徒にも聞かせられれば良かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会とPTAが共に活動する機会をつくる。 持続可能な形で地域貢献に繋がる活動を実施し、生徒の成功体験に繋げる。 情報共有と到達目標を設定して全員で取組を進める。 |

◎各目標数値並びに回答結果数値は、アンケートで「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と肯定的回答した数値合計の割合です。